

会議録【要点筆記】

会議名称	第4回米沢市環境審議会
開催日時	令和7年5月22日(木) 午後2時30分～午後4時10分
開催場所	米沢市役所 3階 303会議室
出席者	<p>会長 吉田 司 国立大学法人山形大学工学部 教授</p> <p>副会長 白壁 洋子 森の仲間たち代表／山形県環境アドバイザー</p> <p>委員 中川 恵 山形県公立大学法人山形県立米沢女子短期大学准教授</p> <p>〃 高野 浩宣 米沢商工会議所 総務企画部マネージャー</p> <p>〃 横山 球代 米沢商工会議所女性会 会長</p> <p>〃 佐藤 郁子 生活クラブやまがた生活協同組合 理事長</p> <p>〃 齊藤 麗子 米沢市衛生組合連合会 副会長</p> <p>〃 我妻 弘一 東南置賜建設業協会 副会長</p> <p>〃 塩越 憲夫 環境省環境カウンセラー</p> <p>〃 福島 正道 環境省環境カウンセラー</p> <p>〃 佐藤 亜紀 公募委員</p> <p>〃 吉原 ゆみ子 公募委員</p>
欠席者	委員 深瀬 順子 米沢市消費生活研究会 副会長
事務局出席者	遠藤市民環境部長 富取課長、伊藤環境主査、佐藤主任、佐々木主事（環境担当）
会議次第	<p>委嘱状交付式</p> <p>1 開会</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 閉会</p> <p>環境審議会</p> <p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 米沢市地球温暖化対策実行計画について</p> <p>① 配布資料の説明（米沢市）</p> <p>② 審議</p> <p>(2) 米沢市地球温暖化対策実行計画（中間見直し）【事務事業編】について</p> <p>① 事前質問・意見について</p> <p>② 審議</p> <p>(3) 脱炭素先行地域づくり事業について（口頭報告）</p> <p>4 その他</p>

	<p>5 閉会</p> <p>※(1) 再エネ促進区域の設定等に向けたゾーニングについて、環境省及び環境省の業務委託事業者（日本工営株）によるオンライン傍聴あり。</p>
会議資料	<p>次第</p> <p>第3回環境審議会資料</p> <p>米沢市地球温暖化対策実行計画（中間見直し）【事務事業編】について</p>
会議内容	
<p>委嘱状交付</p> <p>【1～3】省略</p> <p>環境審議会</p> <p>【1～2】省略</p> <p>【3 議事】</p> <p>事務局より中川委員に議事進行を務めていただく旨説明。</p> <p>(1) 米沢市地球温暖化対策実行計画について</p> <p>事務局 （資料に基づき、説明）</p> <p>議事進行 委員より、質問や意見があれば伺いたい。</p> <p>委員 資料P8 太陽光発電・風力発電施設の作業道にも土地改変に伴う生息環境の影響があると思われるので確認してほしい。</p> <p>事務局 大規模な作業道は土地改変の範囲になる。わかりやすい表現となるように工夫する。</p> <p>会長 風力発電は導入可能エリアになっているが、風況に関しては考慮に入っているのか。</p> <p>事務局 風況を考慮しており、風況のポテンシャルが高いところである。</p> <p>会長 ゾーニングマップを見て調整エリアの7～8割太陽光を敷き詰めてもゼロカーボン達成目標値629MWに届かないのではないかと。面積に対して取り出せる電力がどれくらいなのかが見えてくるとわかりやすい。反対運動で建てられませんが続くと大変なことになるのではないかと。</p> <p>事務局 目標値については令和4年度に委託業者と調整した数値であり、もう一度点検をする必要がある。ここ2～3年で規制が増えてしまっている印象がある。土地の利用に関しては一般家庭や事業家屋の利用や新技術等を視野に入れていきたい。</p> <p>委員 脱炭素先行地域やエネルギーの脱炭素化に覚悟や思いを感じた。設置目標に達成できるかわからないが、5年後に希望が持てた。</p> <p>委員 具体的にどういったものを導入して、どのくらいの量の温室効果ガスを削減できるのか。</p> <p>事務局 再生可能エネルギー導入目標で省エネルギー推進による温室効果ガスの削</p>	

減目標値を定めている。省エネでは 2030 年度で 12 万トン CO2。全体の 15% である。

再エネでは 33 万トンで全体の約 5% である。

実は人口減による二酸化炭素の排出減の件が結構大きい。

これに加えて私たち市民の行動変容をいかにして促すかが大事である。

飯豊町は山形大学と連携し、毎年の排出量の見える化をしている。米沢市は国のカルテに頼っている。

委員 再エネ関係は必要であるが、昨年の風力発電の白紙撤回を受け、風力発電、太陽光発電等の事業者は手を挙げているか。

事務局 現状本市内では、風力発電を計画している事業者はいない。太陽光発電については数か所のご相談はある。

委員 地球温暖化対策で事務事業編と区域施策編の対象の施設、人は誰か。そしていつスタートしたのか。

事務局 事務事業編の対象は市有の全公共施設と職員である。区域施策編は米沢市全域でその中で民間部門、運輸部門に分けて取り組む。対象は米沢市内の住民や事業者等。策定は令和元年で、2030 年までの計画である。

委員 区域施策編と事務事業編が統合することは事務事業編の取組も事業者が行うことになるのか。

事務局 統合は 1 冊にまとめてその中に章として区域施策編と事務事業編が存在するものである。事務事業編が存在するのは先ず公共部門が二酸化炭素排出ゼロを目指すという政府の意向があり、国の公共施設で行っていたのを米沢市でも倣った経緯があり、事業事務編の取組を民間の事業者が行うものではない。1 年後に区域施策編を策定したが、今回スリム化し、わかりやすいように統合を考えている。

委員 中身を見ると意識の問題とお金がかかる部分があるが、どうやって進めていくのか。また、主な取組のマイボトルやマイバッグがどのくらい普及しているのかを数値化しているか。

事務局 数値化は大変難しい。事務事業ではある程度できているが、区域全体は難しいのが現状。一丸となって市民も事業者も行政も進めていく必要があり、見える化も必要になってくる。

委員 別紙 1 P8 その他配慮事項について

除雪の体制が書かれていない。我々は土地を提供する立場として排雪における事業者の配慮を事前に整理しておく必要がある。

(2) 次期米沢市環境基本計画について

事務局 (資料に基づき説明)

委員 環境基本計画は次の 10 年間ということで計画の見直しでよいか。

事務局	はい。
委員	人間と生物が生きていく自然環境のベースが大事である。環境基本計画では生物多様性の保全の部分が足りていない。また森林資源の利活用がなされているか、森林の整備や湿地保全の取り組みはデータがないためどう比較するかも含め数字を出していただけるとよいのではないか。
委員	市民に対して啓発活動はしているのか。
事務局	去年は環境フェス 2024 やスポーツごみ拾いでは学生ボランティアが含まれていた。しかし、皆様にお知らせができていなかったと反省。
委員	環境省主催の教職員等環境教育、学習推進リーダー養成研修があり、ご検討してみたいか。 計画策定するにあたって、具体的な数値目標を入れたほうが良い いつまでに誰が何をやるかのマイルストーンを作っておかないといけない。 半年か1年に1回振り返りは必要なのではないか。
事務局	廃棄物対策も載せている上位計画の環境基本計画で数字を出すのはなかなか難しい。細分化された計画で数値目標を示していきたい。ご理解をいただきたい。
委員	市の循環バスが無料になっている情報や環境の啓発活動を市の X やインスタグラムでもっと流してもらえると、啓発活動につながり、環境を考える人が増えるのではないか。
事務局	発信が足りていないという反省もある。広報には環境のポイントを載せている。他自治体ではエコアプリを取り入れている自治体もある。しかし、なかなか予算が取れないこともあって工夫が必要である。
委員	飯豊町は山形大学と連携したスキームがあるということで脱炭素先行地域の連携でやり方もシェアできるのではないか。
会長	二酸化炭素を減らす話と環境保全は敵対している感じだが、環境保全を美化しすぎてもいけない。環境の話をするだけでなくエネルギーの話をしなくてはならない。我々がどのくらいエネルギーを使って発展してきたのか、この先どうなっていくのか。我々がどれだけ守られた暮らしをして食料生産でどれだけ二酸化炭素を排出しているかを知ったうえで議論をしていかなくてはならない。
(3) 脱炭素先行地域づくり事業について (報告)	
事務局	(資料に基づき説明)
議事進行	会議も全体最後なので全体に関するご意見、ご質問はあるか。
委員	用途用地の変更について調整はあるのか。
事務局	庁内会議は2回行う予定。9月頭に1回、あともう一回。
委員	バイオガス発電と木質バイオマス発電と小水力発電を組み合わせると食肉セ

- センターの電力を賄うのか。余ったところは売電するのか。
- 事務局 小水力は飯豊で行うものである。木質バイオマスの発電と排熱は食肉センターのみで使い、バイオガス発電はおきたま新電力を通して対象エリアに供給する。
- 委員 木質バイオマス発電のために木材産業協議会を設立したのか。
- 事務局 木質バイオマス発電のためではないが、座組に我々も乗っかるという形になる。
- 議事進行 発言していない委員もいるので、一言ずつお願いしたい。
- 委員 次の世代に残していかないと感じているので、いろんな立場があると思うが何とか乗り越えて計画を作っていけたらと思っている。
- 会長 補足となるが、CO2 削減効果は木質バイオマスよりも風力、太陽光発電が圧倒的によい。しかし、他地域がやっていないことで全国初のモデルとなる。そこが、今回米沢市が採択された理由だと思う。しかし、本当に二酸化炭素を減らすのであれば太陽光や風力発電を増やさないといけない。
- 議事進行 その他質問を思いついて後ほどしたい場合は事務局のほうに直接メールをお願いする。
- 以上で議事進行を終わりとする。進行を事務局にお願いする。
- 【4 その他】**
- 事務局 (事務局より、南原の太陽光発電事業計画についての進捗報告)
お聞きしたいことがあればお願いする。
- 委員 情報共有だが、川西町の玉庭地区のサンマリーナ玉庭で行われていたメガソーラーについて、大雪の被害により廃墟になった姿の2年前までの状態がYouTube に載っている。南原の会社はわからないが、玉庭のようになる可能性もあるのではないか。
- 事務局 (事務局より、ペーパーレスのお願いと次回開催日程について報告)
それでは以上をもちまして、第4回米沢市環境審議会を閉会いたします。